

委員会でも積極的に提言

県民の目線、働くものの目線で

文教警察常任委員会

(教育と治安の問題について審議する委員会)

県民・子どもの安心安全

後藤

県内の校舎・体育館の700棟が耐震基準を満たしていない。

新規のハコもの計画よりも、既存施設を利用する生徒や県民の安全を優先すべき。

県教委

学校は、災害時において地域の避難施設ともなる。早急に対応する。

後藤

悪質な産廃の不法投棄等の取締りには粘り強い証拠収集

職員の職場環境改善

後藤

教員の平均勤務時間は一日約11時間。明らかにゆとりを失っている。部活動等による過剰負担の改善を。

県教委

有識者等による検討協議会

決算・行財政改革特別委員会

(決算と行財政改革について審議する委員会)

財政の健全化・ハコもの建設抑制

後藤

「昆虫の森」などのハコもの施設が議会で批判されている

で改善を検討する。

後藤

警官の平均年休取得は年4.3日。これでは元気良く県民の安全を守れない。

県警本部

管理者研修等で取得促進を図りたい。

また、財政が健全化するまでは、新規のハコもの建設を行わず、既存施設の修繕やソフト充実を優先することを方針化すべき。

県執行部

ハコもの建設については、計画段階から議会で十分チェックをしてもらえようにしていきたい。

人員削減計画と県民サービスの維持

後藤

群馬版集中改革プランにおいて5年間で一般行政職を12%削減する計画となっているが、人口・地理条件の類似した栃木県(現状で群馬より500人多いのに6%強の削減)と比べても極端な削減幅である。

業務のスクラップが進まない中で過剰な人員削減は、肝心の県民サービスの低下に直結する。

県執行部

警察、教育、病院等の職員を確保した結果として、今の状況になってしまっている面もある。今後、しっかり検討していきたい。